

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	術中フェンタニル使用量の現状と適正投与量指針策定のための後ろ向き観察研究		
1. 研究の目的と方法	研究の目的 手術中の痛みを抑えるために使われる鎮痛麻薬「フェンタニル」の使用量は、手術の内容や患者さんの体格などによって大きく異なります。 本研究は、過去の手術記録をもとに、手術の種類や患者さんの背景に応じた適切なフェンタニル使用量の目安を明らかにし、痛みのコントロールや副作用の少ない麻酔管理の実現を目指します。 研究の方法 2019年1月1日から2025年9月1日までに東京慈恵会医科大学附属病院で全身麻酔を受けた患者さんの診療データを匿名化して使用します。 - 使用するのは、年齢・性別・体格・手術や麻酔の情報、術後の痛みや副作用に関する記録などです。 - 個人が特定できる情報（氏名や住所など）は削除し、研究専用のIDで管理します。 - この研究は過去の記録のみを使うため、新たな検査や費用の負担はありません。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2019年1月1日～2025年9月1日の間に東京慈恵会医科大学附属病院で全身麻酔を受けた12歳以上の方		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、BMI, 検査結果（血液検査）、手術および麻酔に関わる情報、手術後の痛みや副作用に関する情報	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。		
	試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座
	氏名	山川 健太郎（ヤマカワ ケンタロウ）	

	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 11 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座 研究責任者：教授 山川 健太郎（ヤマカワ ケンタロウ） 電話番号：03-3433-1111（内線 4040） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。